

教育フォーラム



定員
800名

2025.7.27[日]
大阪中央公会堂 大集会室

12:00 受付開始／13:00 開演／16:00 終了

- 第一部 子どもたちがワクワクし続けられる社会をつくる
- 第二部 家庭倫理の会からの体験発表
- 第三部 胎内記憶の第一人者・池川明先生の講演

参加費

2,000円

大阪府倫理法人会文教委員会主催 大阪府内家庭倫理の会協力

子どもたちの未来を
真剣に考える
一日にしませんか？

自殺ゼロを目指す実践者のリアルな活動報告、家庭の力で子育てや不登校が変わる体験談、そして胎内記憶研究の第一人者による驚きと気づきの講演まで。教育・家庭・いのちの本質に触れ、私たち一人ひとりができることを見つめ直す貴重な機会です。子どもたちがワクワクできる社会のために、今、大人ができることを一緒に考えてみませんか？

【申込方法】

Peatix及び
倫理法人会へ
ご連絡ください。



第一部

子どもたちが ワクワクし続けられる 社会をつくる!

子どもの自殺ゼロにする!という想いで活動をしている「子どもは未来」柳辺悠介さんをご紹介します。高校教員として社会人生活を始めたのですが、生活指導で精神疾患児童等の対応をする経験をしなが、学びの4年間をすごされます。子どもたちから教えられることが多々あり、一念発起して教員を退職し、半官半民の形で、数年間「子どもたちを護れる場所づくり」として自給自足を中心とした活動を経験をされます。枚方市立五常小学校の空き教室にフリースクールを設立して、現在の活動に至っています。「自殺する子どもをゼロにする」「廃校を再興させていく」経験談と活動をご紹介します。

第二部

家庭倫理の会からの 体験発表!

家庭倫理の会では主に出産・子育て・家庭づくりの学びを中心におこなっています。倫理の学びからの実践アプローチは、「ひきこもり」や「不登校」など、現代社会が抱えている問題を見事に解決した体験者を多く輩出しております。三名の体験発表を通じて、解決の糸口をつかんでいただければと思います。

- 家庭倫理の会大阪市 山本律子さん
「不登校体験」
- 家庭倫理の会大阪市 小畑久美子さん
「子どもの思春期体験」
- 家庭倫理の会北摂 石原優さん
「出産体験」

第三部

胎内記憶の第一人者 池川明先生の講演!

幸せになるための
妊娠・出産・育児・教育

池川明先生は、胎内記憶(子供たちが生まれる前の記憶)研究の第一人者(産婦人科医)です。このお話は現代科学では説明がつかない部分がありますので、不思議に感じるかも知れません。最近、生まれてくる子供たちの間で不思議な現象がおきていることが研究からわかってきます。胎内記憶研究では「子供たちが親を守るために生まれてきている」など、今までの親子の価値観を大きく変える可能性があります。家庭内での子供の教育にも大きくかわる最新情報と言っても過言ではありません。まだ聞いたことのない方は、ぜひ池川明先生の講演にご参加ください。



いけがわ あきら

池川 明 先生

産婦人科医 医師・医学博士

「胎内記憶」領域の第一人者として、これまで数々の研究論文・書籍の執筆や、新聞・映画等のメディアへの出演を続けてきた。2014年から上映されている「かみさまのやくそく」では主演を務め、現在までの観客動員数は31万人にのぼる。1989年に横浜市に産婦人科 池川クリニックを開設し、2016年までの28年間で約2700件の出産を扱った。現在では出産の扱いをやめ、胎内記憶を世界に広める活動に専念している。

【著書】「胎内記憶でわかった子供もママも幸せになる子育て」誠文堂新光社／「胎内記憶が教えてくれたこの世に生まれてきた大切な理由」青春出版社／「雲の上でママをみていたときのこと。」リヨン社 など多数。

1954年 東京都生まれ
1979年 帝京大学医学部卒業
1986年 帝京大学大学院修了 医学博士
1986年 帝京大学医学部産婦人科医局長
1987年 上尾中央総合病院産科婦人科部長
1989年 池川クリニック開設
1998年 一般社団法人金沢区三師会理事
2005年 神奈川県医師会理事
2011年 横浜市金沢区医師会会長
2011年 横浜市医師会理事

1993年 大阪府生まれ
2016年 大阪大谷大学卒業
2016年 某私学高校教諭 着任
2020年 教育委員会委託職員・村づくり
多岐にわたるボランティア活動
2022年 校内フリースクール・校内キッズニア
校内子ども食堂開始

くしべ ゆうすけ
柳辺 悠介 さん

子どもは未来 創設者

元高校教員。自殺・虐待・非行・貧困・オーバードーズ・薬物など困難を抱える子どもたちと向き合った経験から「子どもは未来」を設立。大阪府枚方市の公立小学校の空き教室で日本初になる官民連携の居場所(フリースクール)を運営。今後は廃校再興させていき、子どもの自殺ゼロの実現を目指されています。

